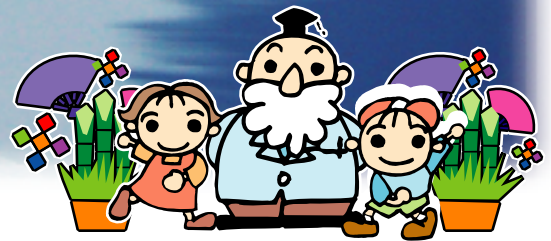




2005.1.15
三国川ダム管理所発行

ダムっ湖



りっちゃん さぐり博士 さぐくん

新年を迎えて

三国川ダム管理所長
平賀 憲太郎

昨年は、7月の中越地方を中心に襲った「7.13 新潟・福島豪雨」に始まり、度重なる台風の上陸により、全国各地で激甚な水害、土砂災害及び高潮災害が数多く発生しました。

更には、10月23日の「平成16年度新潟県中越地震」は「阪神・淡路大地震」以来の大災害となりました。

いまだ、全村避難をしている山古志村住民を始め、仮設住宅で生活をされている方々が大勢おられます。もとの生活に戻れるよう、一日も早い復興が望まれます。

防災を担当している私どもとして、地域住民が安全・安心な暮らしができるよう、引き続き適切なダム管理に努めていきたいと考えております。

昨年を代表する漢字は『災』でしたが、今年の漢字が『福』となるよう、平穏な1年になってもらいたいものです。

平成16年 新潟県中越地震

平成16年10月23日17時56分、新潟県中越地方を震源とするマグニチュード6.8の大地震が発生し、阪神・淡路大震災以来となる震度7の激震が中越地方を襲いました。普段の穏やかな週末が一転40名(12月3日現在)もの尊い命と多くの財産を奪う甚大な被害をもたらしました。

被災された皆様方には、心よりお見舞い申し上げます。

本地震における三国川ダムの状況及び管理所の対応等についてお知らせします。

本震・余震を含め臨時点検を実施し、ダムの安全を確認

ダムでは震度4以上の地震が発生した場合、休日夜間を問わず職員が速やかに参集し、点検を行うことになっています。三国川ダムのある旧六日町(気象庁:六日町伊勢町の震度計)では、本震において震度5強、その直後18時34分の余震では震度6弱を記録しました。その後の余震でも25日に震度4を2回、27日には震度5強の揺れを観測しました。

三国川ダムでは、これら本震・余震に対してそれぞれ臨時点検を実施し、ダム周辺の町道・県道において一部落石が発生したものの、ダム本体等の安全を確認しています。

洪水に備えダムの水位を低く抑える操作を実施

この地震により下流の信濃川・魚野川の堤防は大きな被害を受け、洪水の発生により堤防の決壊、氾濫が危惧されました。

折しも台風24号の接近が予想されたこともあり、洪水時に三国川ダムでより大きな洪水調節能力を発揮し、信濃川の水位上昇を極力抑えるため、ダムの水位を低く保つ操作を11月10日まで実施しました。

地震に対するダムの安全性

ダムは規模も大きく、洪水を調節するなど非常に重要な役割を担っているとともに、仮に破堤するようであれば甚大な被害をもたらすことになるため、極めて高い安全性が要求されています。

地震に対しては、大きく分けて『断層のずれ』、『地盤の振動』の2点について考慮しています。

の『断層のずれ』については、地表面にずれを生じさせる恐れのある、いわゆる「活断層」をさけてダムの位置を選定することにより対応しています。

の『地盤の振動』については、「震度法」と呼ばれる耐震設計を行うことにより対応しています。

このような考え方に基いて建設されたダムは、平成7年に発生した兵庫県南部地震をはじめとした過去の大規模な地震においても安全性に関わる被害は起きていません。

1 「活断層」

活断層とは、地質学的な意味で極めて近い過去に活動し、将来も再び活動する恐れのある断層を言います。

2 「震度法」

地震により予想される力をダムの種類及び地域毎にあらかじめ考慮して設計する手法で、その見方については政令・各種基準などで厳格に決められています。なお、ここでいう震度は「設計震度」と呼ばれ、気象庁が発表する「震度階」(揺れの大きさ)とは異なります。

■中越地震の震源分布域と活断層



＊ 平成16年洪水期を振り返って ＊

昨年の夏から秋にかけては、記録的な集中豪雨や台風の来襲により全国各地において甚大な被害が発生しました。台風の上陸数10個、1時間に50ミリメートル以上の非常に激しい雨の観測回数468回(ともに11月24日現在)は、いずれも過去の記録を大きく塗り替えることになりました。

県内においても7月13日の「新潟・福島豪雨」は、大きな爪痕を残しました。

洪水期には管理開始以降最大を含め6回の洪水調節を実施

三国川ダムでは、6月1日から9月30日までの間を「洪水期」と呼び、貯水位を下げ大規模な洪水に備えています。

昨年はこの間、6回の洪水が発生し、いずれの洪水においても所期の効果を発揮し、下流での被害の軽減を図りました。

回数としては平均の4～5回をやや上回る程度であったものの、前号でお伝えしたとおり7月16日～18日に、2回も管理開始以降最大流入量の記録を更新するなど非常に大きな洪水が頻発した1年となりました。

新たな価値・魅力の再発見！「三国川ダム写真コンテスト」入賞作品のご紹介

ダムを始めとした周辺の風景を収めた写真を通して、完成後 10年を経過した三国川ダムの「新たな価値・魅力の発見」を目的に、昨年開催しました「三国川ダム写真コンテスト」の入賞作品をご紹介します。ぜひ、三国川ダムにお越しいただき、ここに紹介した風景をご覧になってみてはいかがでしょうか。入賞作品は、管理所展示室等で（開館は5月から）展示します。



最優秀賞
「ナイト、ファンタジー」
南魚沼市 江部堅市



優秀賞
「モニュメントと子供達」
長岡市 姉崎 功



優秀賞 「朝霧」
南魚沼市 若井武夫

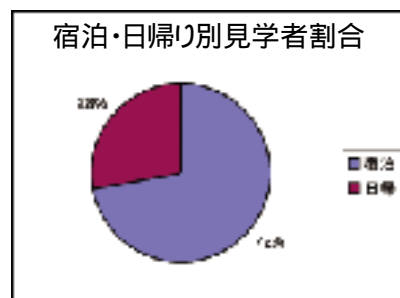
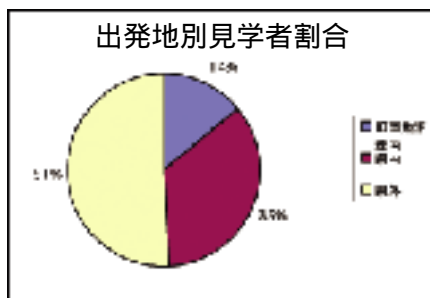
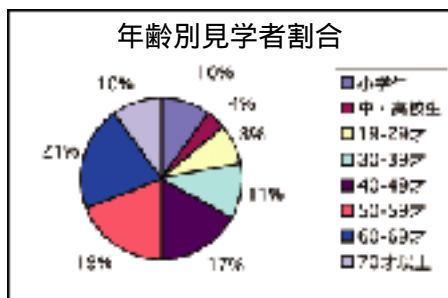
入選 10点

- | | | | |
|------------------------|-------|-----------------------|-------|
| 「春」 | 南雲 政好 | 「きもちいいねー。」 | 田中のぶこ |
| 「秋彩」 | 江部 堅市 | 「湖畔にて」 | 船見 讓 |
| 「初冬のしゃくなげ湖」 | 角屋 健次 | 「さざ波」 | 若井 武夫 |
| 「ダムを守る石畳」 | 桜沢 基 | 「釣堀にて魚を焼く子供」 | 宮崎 伸二 |
| 「ダム周辺に咲くニッコウキスゲ(カンゾウ)」 | 西潟 正忠 | 「三国川ダムのシンボル(シャクナゲの花)」 | 西潟 正忠 |
- （敬称略）

「3,808人」平成16年「監査廊」見学の結果

ダムを実際に見ていただき、その役割・必要性を理解していただくとう平成12年から始めました「監査廊」見学。昨年は新潟県中越地震により周回道路が通行止めになったために10月23日をもって終了したにもかかわらず、年間を通して3,808人の方々からご覧になっていただきました。

そこで、見学者の皆さんから記入いただいたアンケートの結果を、一部ご紹介します。



「どちらで監査廊見学の事を知りましたか？」の設問では、「すでに見学された方の話を聞いて」という方が大勢いらっしゃいました。今後も見学された方が、この監査廊見学の事を地域で話題にしていただけるよう、より解りやすく丁寧な案内に努めて参りたいと思います。

冬のダムのお・し・ご・と!!



ダムコンの更新を待つダム操作室

三国川ダムでは、今年の洪水期をより安全に迎えるため、昨年の秋から春にかけて、雪に埋もれた今でも色々なお仕事をしています。その中から、今回は今年度行っている各設備の改修・修繕^{しゅうぜん}工事をいくつか紹介します(他にもいろいろありますが... 書き切れませ〜ん)。これで、さらに三国川ダムの安全度が高まることは間違いなし!!

常用洪水吐放流設備修繕工事

ダムの地下深くにある常用洪水吐放流設備は、お家にある水道の蛇口^{じゃくち}にあたる部分。ここで、三国川に流れる水を調節するため、三国川ダムでは一番重要な設備です。でも扱う水の量がものすごく多いので、水道の蛇口のようにはきませんので、でっか〜い油圧シリンダなるもので、開け閉めして水の量を調節します。

その大事な設備もメンテナンスフリーって訳にはいきませんので、油圧を発生させる装置の分解・整備や、それを制御する電子機器の交換をしています。

ダム管理用制御処理設備(通称:ダムコン)更新工事

前時代的な8インチのフロッピーディスクのパソコンが並んでいるダム操作室(しゃくなげ湖まつりの「三国川ダム探検隊」や各種見学会などでご覧になった方も多くとおもいますが...)。その心臓部となるダムコンも、建設当時は最新式だったものが、時の流れとともにすでに時代遅れ。部品の中には製造中止のものもあり、予備として確保してある部品も徐々に少なくなったりで、更新を行うことになりました。

でも、10年やそこらで全部取り替えちゃうのはもったいない(環境にも悪いしネ)ので、使えるものは極力残し、入れ替えが必要なものだけ入れ替えます。更新は今年度から3年計画。今年度は機器の製作等を行い、来年度以降は順次現在の機器と入れ替えを行います。3年後にはよりニューアールした姿が。(でも、見た目パソコンだかも?)



『もっと楽しく、もっと元気に、心のふるさと水源郷』をテーマに『しゃくなげ湖を楽しむ会』の昨年の活動は、春・秋のウォーキング(秋は地震のため中止)、野鳥、植物の先生を講師に招きウォーキングと併せた周回道路の花植え・桜の植樹と自然勉強会の場として楽しむ事ができました。

夏のしゃくなげ湖まつりの時には、縁日^{えんにち}よろしくかき氷、ヨーヨー釣りのサービスと来訪者の方と共に楽しいひとときを過ごしました。また、塩沢町上関小学校の児童のフィールドワークのお手伝いもさせていただき、ダム周辺の再発見もありました。

今年の春からは、貸し出し自転車も用意する予定です。しゃくなげ湖は自然風景はもちろんですが、監査廊の見学や流路が作る水紋の妙、不思議体験がいっぱいあります。興味のある方、まだ発足早々の会です。皆さんも一緒に参加してみませんか。



「新緑ウォーク」より

申し込み・問い合わせは、『しゃくなげ湖を楽しむ会』 TEL: 025-772-7405 福崎まで。

編集後記

待ちに待った2005年もういよいよスタートしました。

昨年は数々の自然災害が発生し、自然の力の凄さ、怖さを思い知らされる年でした。23日の中越地震発生以来、監査廊の開放は中止となり皆様にご迷惑をお掛けしましたが、5月より開放いたしますので是非とも見学に来て下さい。(展示室もオープンします!)

今年も三国川ダムの情報を「ダムっ湖」にてお知らせしたいと考えておりますので、ご愛読の程よろしくお願ひ致します。

(編集部一同)

編集・発行

国土交通省北陸地方整備局
三国川ダム管理所

〒949-6741
新潟県南魚沼市清水瀬 686-59
TEL (025) 774-3015
FAX (025) 774-3092
http://www.hrrm.lit.go.jp/saguri/



シャッピー